

## 訂 正

結核 第88巻第11号 721頁～726頁, 2013

森 彩他：入院後に結核と診断された症例の検討—入院前の抗酸菌検査非施行例と施行例との比較

上記論文について、下記のとおり訂正致します。

中山雅之（自治医科大学）  
日本結核病学会編集委員会

723頁 左 16行目～20行目

正：肺結核を認めた症例の入院時の胸部 CT画像所見を Table 4に示す。非施行群の所見の特徴として、限局性・びまん性粒状陰影は施行群との間に差を認めなかったが、コンソリデーション ( $p < 0.01$ )、空洞病変 ( $p < 0.01$ ) は施行群より有意に少なく、結節病変 ( $p < 0.01$ ) は施行群より有意に多かった。

誤：肺結核を認めた症例の入院時の胸部 CT画像所見を Table 4に示す。非施行群の所見の特徴として、限局性粒状陰影は施行群との間に差を認めなかったが、びまん性粒状陰影 ( $p = 0.03$ )、コンソリデーション ( $p < 0.01$ )、空洞病変 ( $p < 0.01$ ) は施行群より有意に少なかった。